

令和7年度  
(令和6年度実績)

# 富山県の後期高齢者医療

令和8年3月

富山県後期高齢者医療広域連合

## 目次

1	広域連合の概要.....	1
(1)	富山県後期高齢者医療広域連合の概要.....	2
(2)	財政状況.....	6
2	被保険者の状況.....	8
(1)	被保険者数の推移.....	9
(2)	年齢階層別被保険者数.....	10
(3)	所得区分別被保険者数及び構成割合.....	10
(4)	市町村別被保険者数.....	11
3	保険料の状況.....	13
(1)	保険料率.....	14
(2)	保険料の賦課収納.....	14
(3)	保険料の軽減.....	15
(4)	保険料の減免.....	15
(5)	短期被保険者証の発行状況.....	16
(6)	収納率向上に向けた取り組み.....	16
4	医療費・保険給付費の状況.....	17
(1)	医療費の概要.....	18
(2)	一人当たり医療費.....	19
(3)	医療費の種類別推移.....	20
(4)	療養費.....	22
(5)	葬祭費.....	23
(6)	疾病別医療費の概要.....	23
5	保健事業の状況.....	27
(1)	健康診査事業.....	28
(2)	歯科健診.....	29
(3)	人間ドック助成事業.....	30
(4)	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業.....	31
(5)	糖尿病性腎症重症化予防事業.....	32
(6)	循環器疾患（高血圧）重症化予防事業.....	32
(7)	ポリファーマシー対策事業.....	33
(8)	保険者インセンティブの推進.....	34
6	医療費適正化事業の状況.....	35
(1)	医療費通知（医療費のお知らせ）の送付.....	36
(2)	ジェネリック医薬品の利用促進.....	36

## 1 広域連合の概要

## 1 広域連合の概要

### (1) 富山県後期高齢者医療広域連合の概要

#### 広域連合設立の根拠

高齢者の医療の確保に関する法律第 48 条

市町村は、後期高齢者医療の事務を処理するため、都道府県の区域ごとに当該区域内のすべての市町村が加入する広域連合を設けるものとする。

#### 広域連合設立の経緯

平成 18 年 6 月 21 日に「健康保険法等の一部を改正する法律」が公布され、平成 20 年度から、これまでの老人保健制度に代わり、原則として 75 歳以上の方を対象とする新たな高齢者医療制度が創設されることになりました。

この制度の運営主体として、都道府県単位で全市町村が加入する特別地方公共団体である「広域連合」が平成 18 年度中に設置されることも同法で定められました。

本県では、富山県市長会及び富山県町村会が中心となって、全市町村の首長が委員となる広域連合設立準備委員会を平成 18 年 9 月 1 日に立ち上げ、委員会や全市町村の所管課長による幹事会の場で様々な検討を行ってまいりました。

そして、平成 18 年 12 月 22 日までに、県下全市町村の議会において広域連合設置議案が可決され、平成 18 年 12 月 27 日に全市町村長の連名で富山県知事に対し、設置許可申請を行いました。

平成 19 年 1 月 10 日に許可書の交付を受け、同日に「富山県後期高齢者医療広域連合」が発足し、平成 20 年 4 月 1 日から後期高齢者医療制度が開始されました。

## 概 要

項 目	内 容	
設立	平成 19 年 1 月 10 日	平成 18 年 12 月 27 日：設立許可申請書を知事に提出 平成 19 年 1 月 10 日：設立許可
構成市町村	富山県内全市町村	県内の全ての市町村（15 市町村）
事務所	富山県富山市婦中町速星 754 番地 富山市婦中行政サービスセンター 5 階	
処理事務	後期高齢者医療制度の保険者業務 (被保険者の資格管理、医療給付、保険料の賦課及び徴収、保健事業等)	
執行機関	広域連合長 1 人 広域副連合長 1 人	○広域連合長 出町 譲（高岡市長） ○広域副連合長 笹原 靖直（朝日町長）
議員定数	定 数 24 人 〔関係市町村長、副市町村長〕 又は議会の議員により組織	○議長 桜井 森夫（小矢部市長） ○副議長 横野 昭（富山市議会議員）
事務局職員	派遣職員 18 人 (会計年度任用職員 5 人)	○総務課、事業課 (10 市から 13 人、4 町から 4 人、1 村から 1 人)
経費支弁	市町村の負担金 ○共通経費（均等割 10%、高齢者人口割 45%、人口割 45%） ○医療給付に要する経費（高齢者医療確保法第 98 条） ○保険料その他の納付金等（高齢者医療確保法第 105 条）	

令和 7 年 10 月 1 日現在

広域連合と市町村の役割分担

	広域連合が行う事務	市町村が行う事務
被保険者の資格管理に関する事務	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 被保険者の資格管理</li> <li>② 65歳～74歳の者の資格認定</li> <li>③ 資格確認書等の交付・回収</li> <li>④ 一部負担金割合の決定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 申請及び届出の受付                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・資格確認書等の交付申請</li> <li>・障害認定申請等</li> <li>・生活保護認定等に係る資格取得・喪失の届出</li> </ul> </li> <li>② 資格確認書等の再発行</li> <li>③ 資格確認書等の返還の受付</li> </ul>
医療給付に関する事務	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 医療給付費の審査、支払</li> <li>② 葬祭費等の支給</li> <li>③ レセプト点検の実施、医療費通知・後発医薬品差額通知の送付</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 医療給付、葬祭費等の支給申請の受付</li> <li>② 特定疾病の認定に係る証明書の引渡し</li> </ul>
保険料の賦課及び徴収に関する事務	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 保険料率の決定</li> <li>② 保険料の賦課決定</li> <li>③ 保険料軽減措置判定</li> <li>④ 減免・徴収猶予の決定</li> <li>⑤ 簡易申告書及び所得照会書の送付</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 保険料の徴収(納入通知書の送付を含む。)</li> <li>② 保険料等の納入</li> <li>③ 保険料の減免・徴収猶予に係る申請の受付</li> <li>④ 簡易申告書及び所得照会書の受付</li> </ul>
保健事業に関する事務	<ul style="list-style-type: none"> <li>① データヘルス計画の推進</li> <li>② 高齢者保健事業の実施 (健康診査、歯科健診、重症化予防事業)</li> <li>③ 高齢者保健事業と介護予防の一体的実施の推進                             <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 高齢者保健事業の企画調整</li> <li>イ 域内全体の健康課題の把握・分析</li> <li>ウ 市町村への情報提供及び各過程における支援</li> <li>エ 事業実施内容の取りまとめ及び事業評価</li> <li>オ 関係団体等との調整</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 広域連合と連携した保健事業の実施</li> <li>② 高齢者保健事業と介護予防の一体的実施の実施                             <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 事業内容の企画・調整</li> <li>イ 基本的な方針の策定</li> <li>ウ KDBシステム等を活用した地域の健康課題の分析・把握</li> <li>エ 低栄養防止・重症化予防等への個別的支援(ハイリスクアプローチ)</li> <li>オ 通いの場等への積極的関与(ポピュレーションアプローチ)</li> <li>カ 実績報告関係書類の作成</li> <li>キ 関係団体等との調整</li> </ul> </li> </ul>
その他後期高齢者医療制度の施行に関する事務	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 後期高齢者医療制度に関する広報活動の実施</li> <li>② 住民からの相談、問い合わせ等の対応</li> <li>③ 個人情報の適正管理</li> </ul>	<p>(広域連合・市町村が連携)</p>

令和7年10月1日現在



## (2) 財政状況

## 一般会計決算の状況

## 【令和6年度 一般会計決算】

歳 入				歳 出			
科 目 (款)	決算額 (円)	構成比	前年度比	科 目 (款)	決算額 (円)	構成比	前年度比
1 分担金及び負担金	163,668,000	98.5%	6.6%	1 議会費	568,768	0.4%	0.9%
2 諸収入	182,825	0.1%	67.4%	2 総務費	161,229,236	99.6%	5.2%
3 繰越金	2,274,547	1.4%	▲5.4%	3 公債費	0	0.0%	—
				4 予備費	0	0.0%	—
合 計	166,125,372	100.0%	6.5%	合 計	161,798,004	100.0%	5.2%

収支差引額 4,327,368円

## 【一般会計 決算額の推移】

年度	歳 入		歳 出		収支差引額 (円)
	決算額 (円)	前年度比	決算額 (円)	前年度比	
令和2年度	155,360,592	3.0%	146,009,302	1.8%	9,351,290
令和3年度	155,613,201	0.2%	149,086,562	2.1%	6,526,639
令和4年度	158,227,083	1.7%	155,822,283	4.5%	2,404,800
令和5年度	156,040,000	▲1.4%	153,765,453	▲1.3%	2,274,547
令和6年度	166,125,372	6.5%	161,798,004	5.2%	4,327,368

## 特別会計決算の状況

## 【令和6年度 特別会計決算】

歳 入				歳 出			
科 目 (款)	決算額 (円)	構成比	前年度比	科 目 (款)	決算額 (円)	構成比	前年度比
1 市町村支出金	32,578,824,073	18.2%	4.3%	1 総務費	669,704,460	0.5%	30.1%
2 国庫支出金	60,755,925,477	34.0%	3.8%	2 保険給付費	174,906,466,227	97.8%	2.5%
3 県支出金	15,462,839,960	8.6%	4.0%	3 県財政安定化基金拠出金	0	0.0%	—
4 支払基金交付金	69,195,405,000	38.7%	0.8%	4 特別高額医療費共同事業拠出金	107,440,005	0.1%	28.9%
5 特別高額医療費共同事業交付金	99,882,395	0.1%	27.2%	5 支払基金拠出金	132,331,160	0.1%	—
6 財産収入	8,519,518	0.0%	297.0%	6 保健事業費	966,836,545	0.5%	3.5%
7 繰入金	627,905,798	0.4%	▲69.6%	7 基金積立金	8,519,518	0.0%	297.0%
8 県財政安定化基金借入金	0	0.0%	—	8 公債費	494,246	0.0%	▲37.3%
9 諸収入	175,551,324	0.1%	2.3%	9 諸支出金	2,113,061,384	1.2%	▲39.2%
10 繰越金	0	0.0%	—	10 予備費	0	0.0%	—
合 計	178,904,853,545	100.0%	1.9%	合 計	178,904,853,545	100.0%	1.9%

収支差引額 0円

【財政調整基金】 7,931,144,566円 (令和6年度未残高)

## 【特別会計 決算額の推移】

年度	歳 入		歳 出		収支差引額 (円)
	決算額 (円)	前年度比	決算額 (円)	前年度比	
令和2年度	159,615,824,804	0.3%	155,074,788,005	▲2.5%	4,541,036,799
令和3年度	167,384,610,709	4.9%	167,384,610,709	7.9%	0
令和4年度	167,997,120,352	0.4%	167,997,120,352	0.4%	0
令和5年度	175,598,925,558	4.5%	175,598,925,558	4.5%	0
令和6年度	178,904,853,545	1.9%	178,904,853,545	1.9%	0

## 2 被保険者の状況

## 2 被保険者の状況

### (1) 被保険者数の推移

本県の被保険者数は、令和6年度末時点で20万2,237人であり、制度が創設された平成20年度末時点の14万8,766人から比べると35.9%増加している。また、県人口に占める被保険者数の割合も増加を続けており、高齢化の進展がうかがえる。

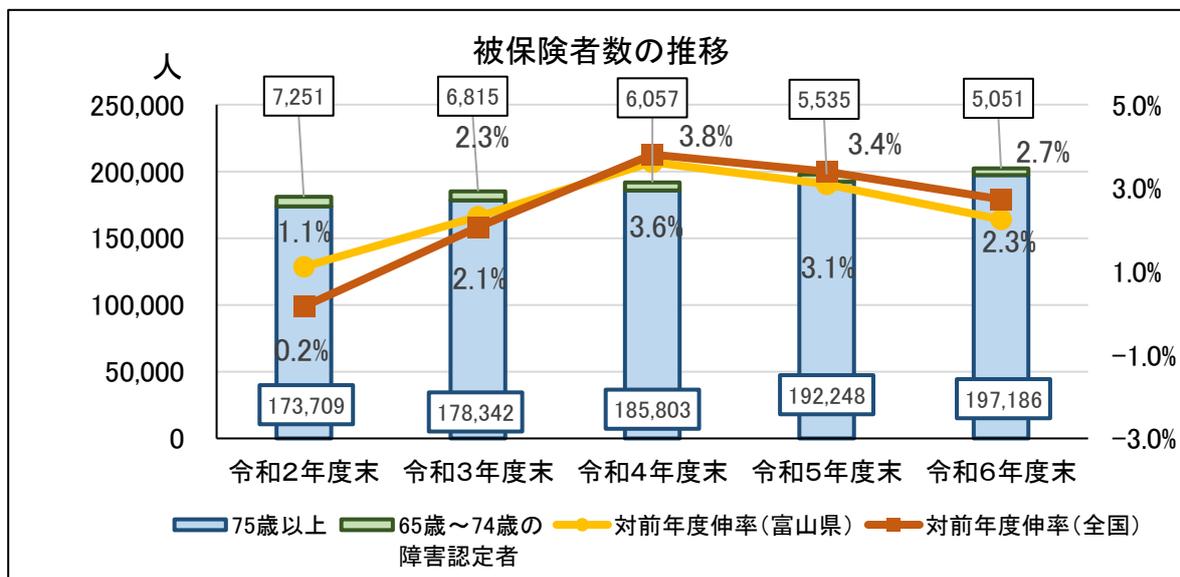
#### 【被保険者数の推移】

年度	被保険者数 A (人)	対前年 増加数 (人)	対前年 伸率 (%)	再掲				富山県 人口※ D (人)	富山県 人口比 A/D (%)
				75歳以上		65歳～74歳の 障害認定者			
				B (人)	B/A (%)	C (人)	C/A (%)		
令和2年度末	180,960	1,993	1.1%	173,709	96.0%	7,251	4.0%	1,034,814	17.5%
令和3年度末	185,157	4,197	2.3%	178,342	96.3%	6,815	3.7%	1,025,409	18.1%
令和4年度末	191,860	6,703	3.6%	185,803	96.8%	6,057	3.2%	1,016,323	18.9%
令和5年度末	197,783	5,923	3.1%	192,248	97.2%	5,535	2.8%	1,006,367	19.7%
令和6年度末	202,237	4,454	2.3%	197,186	97.5%	5,051	2.5%	995,955	20.3%

【出典】◆富山県人口：「富山県人口移動調査」

※富山県人口は各年度の10月1日現在

◆被保険者数：「後期高齢者医療事業状況報告書（事業年報）」



※全国の伸び率は厚生労働省「後期高齢者医療事業状況報告」を基に算出

## 富山県の後期高齢者医療

### (2) 年齢階層別被保険者数

75歳未満では、65歳から69歳の被保険者数は減少傾向にある。75歳以上は増加傾向にあり、特に75歳から79歳の被保険者数が増加している。

#### 【年齢階層別被保険者数】

	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳～94歳	95歳～99歳	100歳～	計
令和2年度末	2,533	4,718	63,073	47,781	36,826	19,064	6,058	907	180,960
令和3年度末	2,350	4,465	63,512	50,752	37,318	19,448	6,338	974	185,157
令和4年度末	2,203	3,854	69,967	51,882	36,653	19,964	6,355	982	191,860
令和5年度末	2,132	3,403	74,196	54,958	35,262	20,265	6,542	1,025	197,783
令和6年度末	2,064	2,987	77,915	56,373	35,132	20,087	6,613	1,066	202,237

#### 【令和2年度末から令和6年度末の増減率】

65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳～94歳	95歳～99歳	100歳～	計
▲18.5%	▲36.7%	23.5%	18.0%	▲4.6%	5.4%	9.2%	17.5%	11.8%

### (3) 所得区分別被保険者数及び構成割合

被保険者数に占める「現役並み所得者」、「現役並み所得者以外」の比率は、近年、大きな変化は見られない。内訳では、「現役並み所得者以外」において、低所得者Ⅰ、一般所得者の比率が減少する半面、低所得者Ⅱの比率が増加する傾向にある。また、制度改正により令和4年10月から一般所得者Ⅱの区分が新設され、令和6年度末時点の比率は20.48%となっている。

#### 【所得区分別被保険者数及び構成割合】

単位：人

年度	被保険者数									
	被保険者数	現役並み所得者				現役並み所得者以外				
		再掲（所得区分）	再掲（所得区分）			再掲（所得区分）				
			現役並みⅢ	現役並みⅡ	現役並みⅠ	一般所得者Ⅱ	一般所得者Ⅰ	低所得者Ⅱ	低所得者Ⅰ	
令和2年度末	180,960	8,753	1,359	1,369	6,025	172,207	-	113,344	39,862	19,001
割合	100.00%	4.84%	0.75%	0.76%	3.33%	95.16%	-	62.63%	22.03%	10.50%
令和3年度末	185,157	9,200	1,403	1,452	6,345	175,957	-	115,105	42,348	18,504
割合	100.00%	4.97%	0.76%	0.78%	3.43%	95.04%	-	62.17%	22.87%	9.99%
令和4年度末	191,860	9,891	1,587	1,572	6,732	181,969	37,550	80,878	45,440	18,098
割合	100.00%	5.16%	0.83%	0.82%	3.51%	94.85%	19.57%	42.16%	23.68%	9.43%
令和5年度末	197,783	10,581	1,675	1,697	7,209	187,202	38,777	82,708	47,718	17,999
割合	100.00%	5.35%	0.85%	0.86%	3.64%	94.65%	19.60%	41.82%	24.13%	9.10%
令和6年度末	202,237	11,639	1,879	1,804	7,956	190,598	41,422	83,223	48,646	17,307
割合	100.00%	5.76%	0.93%	0.89%	3.93%	94.24%	20.48%	41.15%	24.05%	8.56%

※令和4年10月から「一般所得者Ⅱ」の区分新設

※「被保険者数」には所得区分不詳を含むため、所得区分別の合計と一致しない場合がある。

※端数を四捨五入していることから、構成割合の総数と内訳の計が一致しない場合がある。

## (4) 市町村別被保険者数

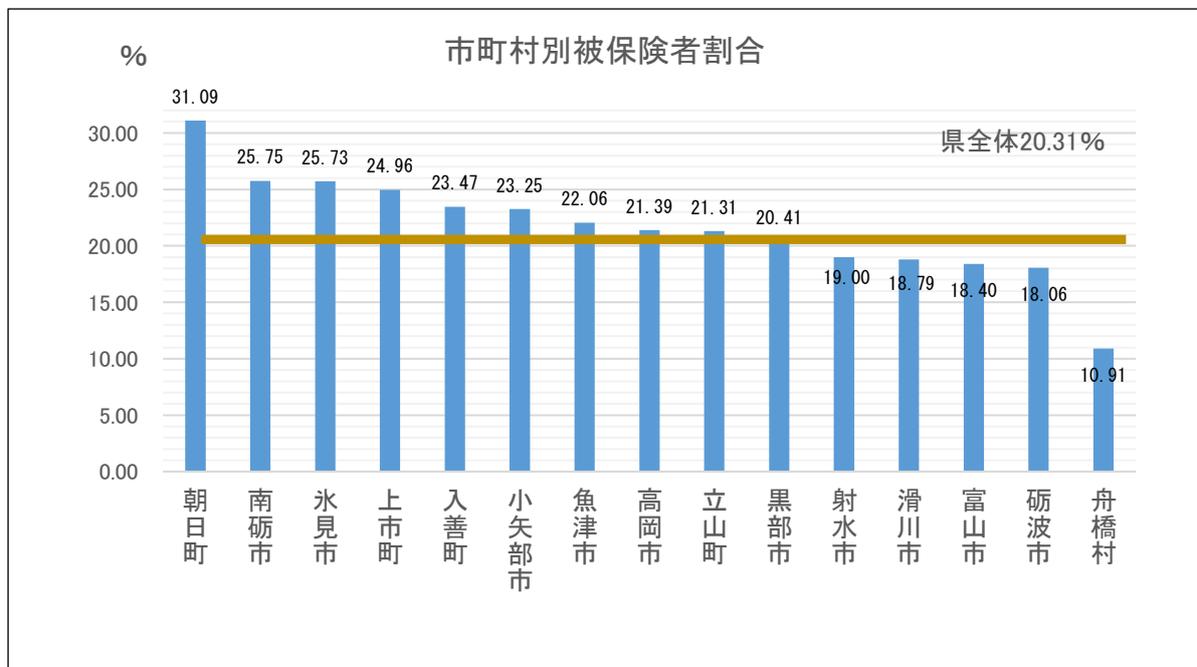
各市町村の人口に占める被保険者数の割合は、朝日町(31.09%)が最も高く、舟橋村(10.91%)が最も低くなっている。県全体での割合は20.31%で前年の19.65%から増加しており、人口4.9人に1人が後期高齢者医療被保険者となっている。

## 【市町村別被保険者数】

	人口 (人)	年齢層別被保険者内訳(人)								被保険者数 (人)	被保険者割合 (%)
		65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90~94歳	95~99歳	100歳以上		
富山市	403,869	874	1,257	28,313	21,216	12,939	7,084	2,257	360	74,300	18.40
高岡市	160,054	286	448	13,390	9,719	5,799	3,297	1,106	193	34,238	21.39
魚津市	38,020	70	118	3,246	2,368	1,475	819	251	40	8,387	22.06
氷見市	40,287	88	119	4,061	2,681	1,850	1,161	352	54	10,366	25.73
滑川市	31,663	53	94	2,267	1,710	1,021	579	198	26	5,948	18.79
黒部市	38,078	59	108	2,963	2,138	1,427	753	271	52	7,771	20.41
砺波市	46,763	94	125	3,316	2,236	1,418	901	303	54	8,447	18.06
小矢部市	27,360	66	83	2,432	1,684	1,086	714	250	46	6,361	23.25
南砺市	44,486	117	163	4,248	2,846	2,148	1,314	546	75	11,457	25.75
射水市	88,608	164	215	6,901	4,741	2,797	1,484	470	63	16,835	19.00
舟橋村	3,225	2	4	119	97	86	33	7	4	352	10.91
上市町	18,018	38	83	1,747	1,229	777	488	115	20	4,497	24.96
立山町	23,620	59	69	1,894	1,454	883	482	159	33	5,033	21.31
入善町	21,959	63	77	1,956	1,371	858	588	212	28	5,153	23.47
朝日町	9,945	31	24	1,062	883	568	390	116	18	3,092	31.09
合計	995,955	2,064	2,987	77,915	56,373	35,132	20,087	6,613	1,066	202,237	20.31

※人口：令和6年10月1日現在 被保険者数：令和7年3月31日現在

【出典】◆人口：「富山県人口移動調査」 ◆被保険者数：富山県後期高齢者医療広域連合集計



参考：市町村別高齢化率

令和6年10月1日現在

	人口 (人)	65歳以上人口 (人)	高齢化率 (%)
富山市	403,869	121,502	30.08
高岡市	160,054	53,183	33.23
魚津市	38,020	13,213	34.75
氷見市	40,287	16,736	41.54
滑川市	31,663	9,641	30.45
黒部市	38,078	12,417	32.61
砺波市	46,763	14,429	30.86
小矢部市	27,360	10,685	39.05
南砺市	44,486	18,219	40.95
射水市	88,608	27,440	30.97
舟橋村	3,225	635	19.69
上市町	18,018	6,959	38.62
立山町	23,620	8,140	34.46
入善町	21,959	8,567	39.01
朝日町	9,945	4,696	47.22
合計	995,955	326,462	32.78

【出典】人口：「富山県人口移動調査」

### 3 保険料の状況

### 3 保険料の状況

#### (1) 保険料率

保険料には、被保険者全員が一律に負担する「均等割額」と前年の所得に応じて負担する「所得割率」があり、その合計の上限額（賦課限度額）は令和6年度は73万円であった。

##### 【保険料率及び賦課限度額の推移】

	令和2・3年度	令和4・5年度	令和6年度
均等割額	46,800円	46,800円	46,800円
所得割率	8.82%	8.82%	8.82%
賦課限度額 (年間保険料額の限度額)	64万円	66万円	73万円

#### (2) 保険料の賦課収納

保険料の納付方法は、年金から天引きされる「特別徴収」と納付書や口座引落で納める「普通徴収」がある。本県の収納率は過去5年間99.5%以上を維持している。

##### 【保険料の徴収方法ごとの収納額・収納率】

年度	徴収方法	調定額A (円)	収納額B (円)	収納率B/A(%)
令和2年度	特別徴収	8,569,559,100	8,569,559,100	100.00
	普通徴収	3,831,239,000	3,786,250,983	98.82
	合計	12,400,798,100	12,355,810,083	99.63
令和3年度	特別徴収	8,615,529,200	8,615,529,200	100.00
	普通徴収	3,860,954,100	3,818,815,750	98.90
	合計	12,476,483,300	12,434,344,950	99.66
令和4年度	特別徴収	8,704,794,400	8,704,794,400	100.00
	普通徴収	4,407,595,200	4,359,062,300	98.90
	合計	13,112,389,600	13,063,856,700	99.63
令和5年度	特別徴収	9,106,177,200	9,106,177,200	100.00
	普通徴収	4,507,704,100	4,457,092,000	98.88
	合計	13,613,881,300	13,563,269,200	99.62
令和6年度	特別徴収	9,612,589,900	9,612,589,900	100.00
	普通徴収	4,748,497,900	4,692,081,963	98.81
	合計	14,361,087,800	14,304,671,863	99.61

**(3) 保険料の軽減**

所得が一定以下の被保険者等に対して保険料の均等割が減額される軽減措置がある。

## 【軽減対象者の内訳】

	軽減割合	対象者	割合
均等割	7割軽減	70,160人	35.19%
	5割軽減	34,480人	17.29%
	2割軽減	26,097人	13.09%
	軽減合計	130,737人	65.57%
被保険者数		199,374人	

(令和6年8月1日現在)

**(4) 保険料の減免**

災害や失業などによる所得の大幅な減少など特別な事由により保険料の納付が困難な場合、申請により保険料の減額または免除が受けられる。令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響による収入減少等によるもの及び令和5年度については、令和6年能登半島地震による減免申請数が大幅に増加した。

## 【保険料減免実績】

年度	災害等		減収等		その他		合計	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
令和2年度	8	505,900	0	0	289	13,120,500	297	13,626,400
令和3年度	5	481,400	0	0	45	3,258,000	50	3,739,400
令和4年度	6	559,100	0	0	10	487,800	16	1,046,900
令和5年度	264	2,388,100	0	0	6	76,300	270	2,464,400
令和6年度	674	28,478,600	0	0	3	30,500	677	28,509,100

※申請受付年度ごと

### (5) 短期被保険者証の発行状況

保険料滞納者との交渉機会を確保することを目的として発行していた、有効期限が6か月等の短期被保険者証は、令和6年12月2日に被保険者証が廃止されたことに伴いその仕組みが廃止となった。

#### 【短期被保険者証の発行状況】

年度	①発行者数(人) (8月1日現在)	②被保険者数(人) (7月末現在)	割合(%) (①/②)	全国発行割合(%) (9月末現在)
令和2年度	54	181,683	0.03	0.18
令和3年度	52	180,706	0.03	0.16
令和4年度	64	187,803	0.03	0.17
令和5年度	106	193,907	0.05	0.15
令和6年度	93	199,374	0.05	0.13

【出典】◆全国発行割合：厚生労働省保険局「後期高齢者医療制度被保険者実態調査報告」

### (6) 収納率向上に向けた取り組み

本広域連合では、保険料収納対策実施計画を策定し、保険料を確実に収納するために市町村及び広域連合が行う基本的な取り組みを明確にし、収納対策に取り組んでいる。

また、市町村の保険料収納対策の実態について調査し、調査結果を情報共有することにより、更なる収納率向上に努めている。

#### 【滞納者数の推移】

年度	①滞納者数(人) (翌6月1日現在)	②被保険者数(人) (3月末現在)	割合(%) (①/②)
令和2年度	1,284	180,960	0.71
令和3年度	1,293	185,157	0.70
令和4年度	1,626	191,860	0.85
令和5年度	1,914	197,783	0.97
令和6年度	1,755	202,237	0.87

## 4 医療費・保険給付費の状況

## 4 医療費・保険給付費の状況

### (1) 医療費の概要

令和2年度の新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えから一転し、令和3年度以降は毎年伸び続けている。

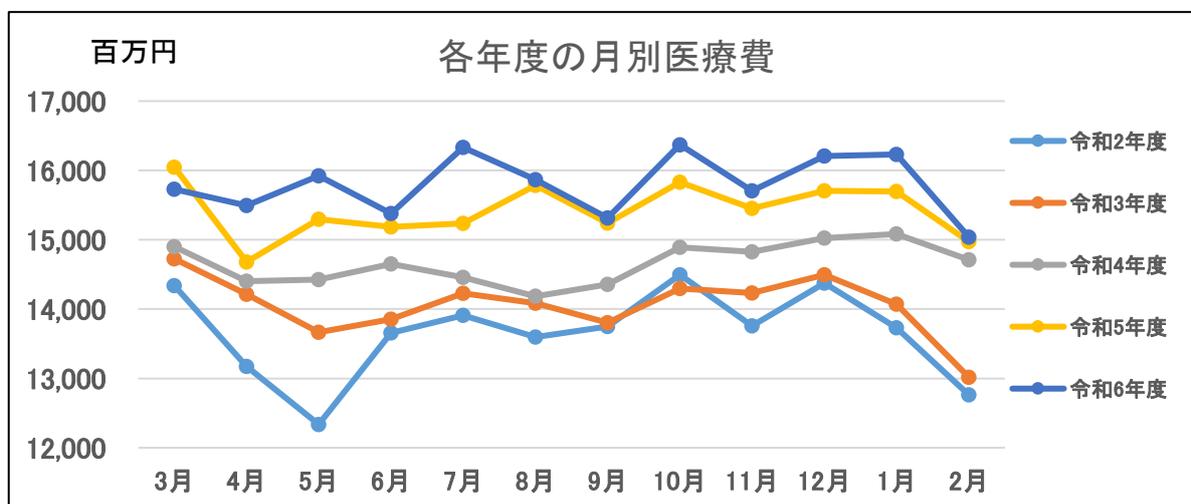
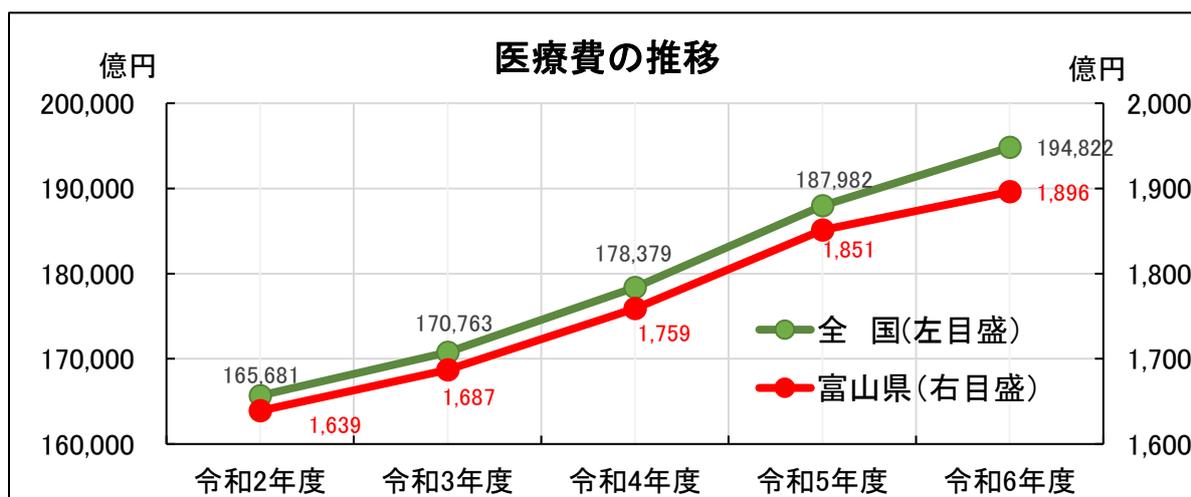
#### 【医療費の推移】

単位：億円

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
全国	165,681	170,763	178,379	187,982	194,822
対前年度伸率	0.9%	3.1%	4.5%	5.4%	3.6%
富山県	1,639	1,687	1,759	1,851	1,896
対前年度伸率	0.4%	2.9%	4.3%	5.2%	2.4%

【出典】◆全国：厚生労働省「後期高齢者医療事業状況報告」※令和6年度は速報値

◆富山県：「後期高齢者医療事業状況報告書（事業年報）」



**(2) 一人当たり医療費**

本県の一人当たり医療費は全国と比較して低い傾向にある。また、令和2年度以降、増加していた医療費が令和6年度は微減に転じている。

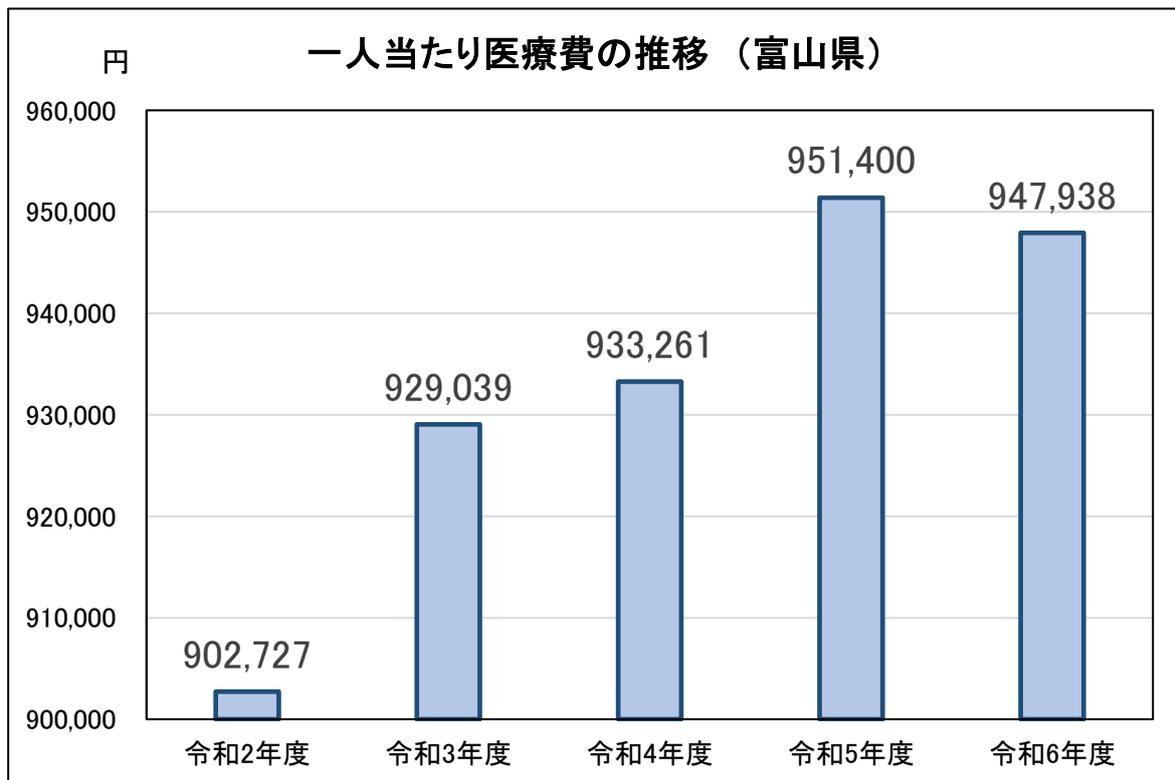
**【一人当たり医療費の推移】**

単位：円

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
全国	917,124	940,512	951,767	968,102	964,905
対前年度伸率	-2.8%	2.6%	1.2%	1.7%	-0.3%
富山県	902,727	929,039	933,261	951,400	947,938
対前年度伸率	-2.2%	2.9%	0.5%	1.9%	-0.4%

【出典】◆全国：厚生労働省「後期高齢者医療事業状況報告」※令和6年度は速報値

◆富山県：「後期高齢者医療事業状況報告書（事業年報）」



(3) 医療費の種類別推移

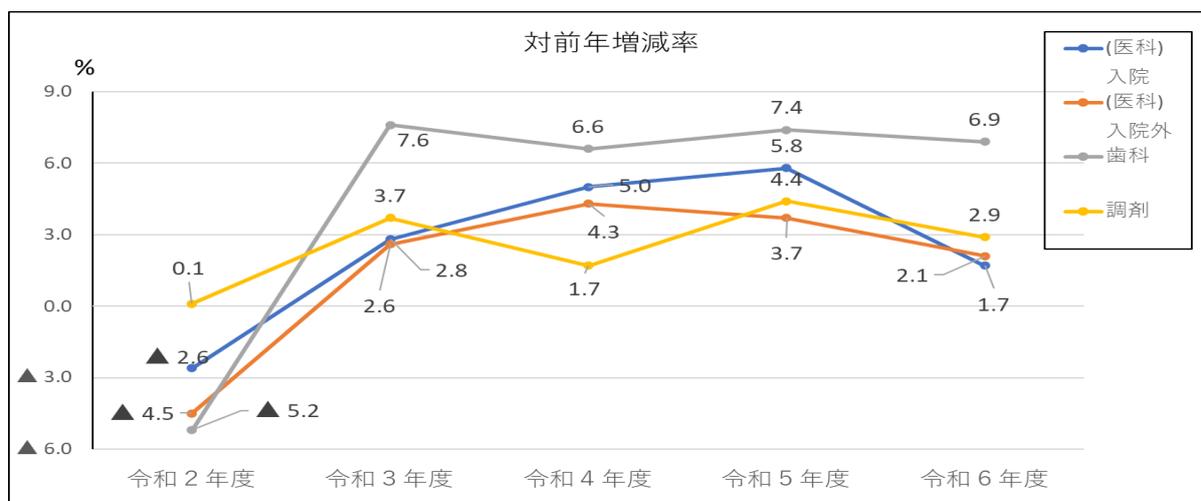
令和4年度に減少傾向だった療養費等が増加に転じ、令和5年度以降は全体的に増加傾向である。

個別の項目では、「訪問看護療養費」が増加し続けている。

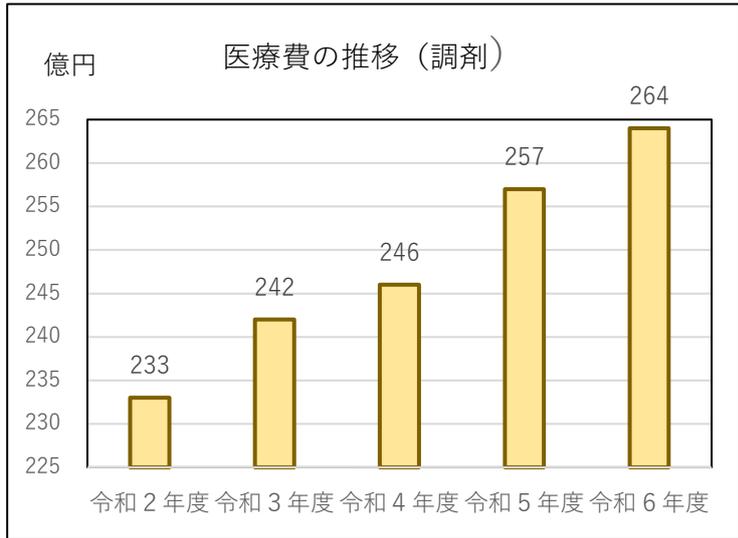
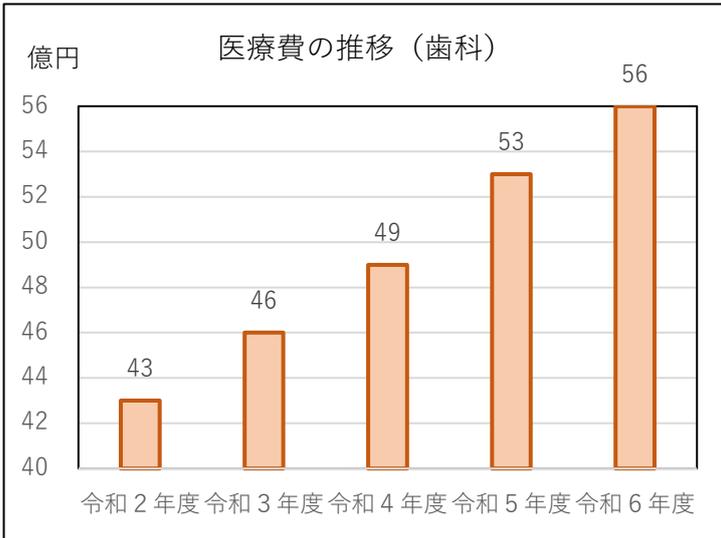
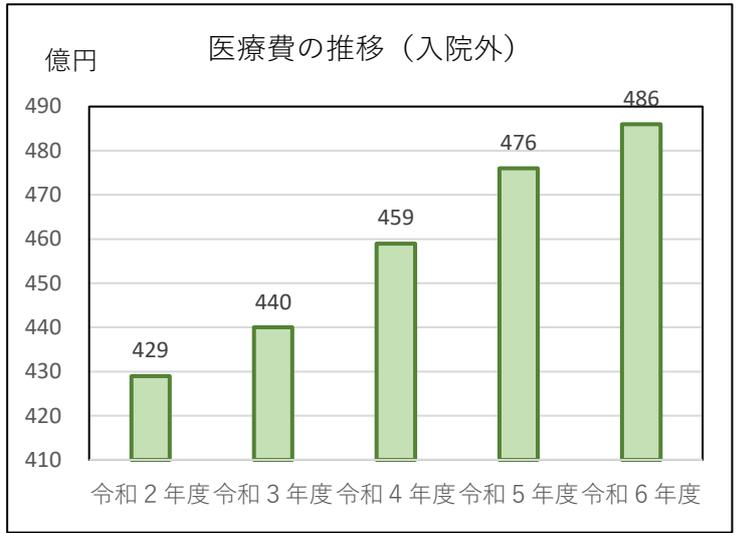
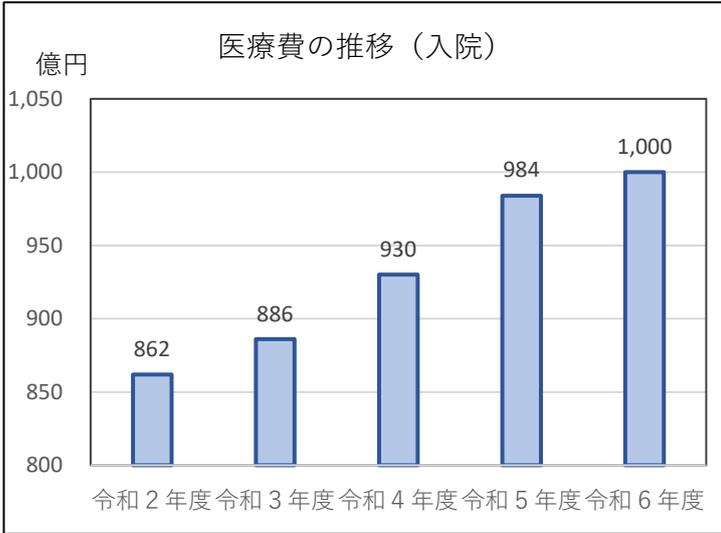
【医療費の推移】

区分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
療養給付費等	医科	129,140,424,581	132,641,668,075	138,920,062,782	145,987,065,473	148,684,405,562
	入院	86,227,758,173	88,604,412,601	93,004,379,793	98,365,819,327	100,062,354,500
	伸率	▲2.6%	2.8%	5.0%	5.8%	1.7%
	入院外	42,912,666,408	44,037,255,474	45,915,683,079	47,621,246,146	48,622,051,062
	伸率	2.9%	▲4.5%	2.6%	3.7%	2.1%
	歯科	4,265,790,057	4,591,806,583	4,895,270,165	5,256,484,939	5,617,880,697
	伸率	▲5.2%	7.6%	6.6%	7.4%	6.9%
	調剤	23,340,705,016	24,202,064,253	24,617,520,395	25,703,079,597	26,447,686,279
	伸率	0.1%	3.7%	1.7%	4.4%	2.9%
	食事・生活療養	4,579,559,003	4,571,848,156	4,551,264,261	4,699,798,494	4,818,704,419
伸率	▲4.2%	▲0.2%	▲0.5%	3.3%	2.5%	
訪問看護療養費	1,065,685,410	1,169,861,231	1,452,015,610	1,927,052,120	2,443,530,350	
伸率	14.8%	9.8%	24.1%	32.7%	26.8%	
計	162,392,164,067	167,177,248,298	174,436,133,303	183,573,480,623	188,012,207,307	
伸率	▲2.7%	2.9%	4.3%	5.2%	2.4%	
療養費等	柔道整復療養費	895,940,433	889,758,075	886,625,381	907,232,988	872,141,513
	伸率	▲8.2%	▲0.7%	▲0.4%	2.3%	▲3.9%
	あん摩・マッサージ	301,024,600	313,392,910	301,189,347	336,505,565	368,687,425
	伸率	▲20.0%	4.1%	▲3.9%	11.7%	9.6%
	はり、きゅう	136,757,890	132,001,290	133,598,458	134,883,984	151,203,594
	伸率	3.8%	▲3.5%	1.2%	1.0%	12.1%
その他療養費	155,667,901	173,452,168	157,110,404	173,146,385	182,491,137	
伸率	▲12.4%	11.4%	▲9.4%	10.2%	5.4%	
計	1,489,390,824	1,508,604,443	1,478,523,590	1,551,768,922	1,574,523,669	
伸率	▲10.4%	1.3%	▲2.0%	5.0%	1.5%	

【出典】◆「後期高齢者医療事業状況報告書（事業年報）」



【医療費の種類別推移】



## 富山県の後期高齢者医療

### (4) 療養費

令和6年度と令和5年度の比較では、「柔道整復」については、件数、1件当たり費用額は減少しており、逆に「あん摩・マッサージ」及び「はり・きゅう」については、件数、1件当たり費用額は増加している。

#### 【療養費の推移】

##### 柔道整復

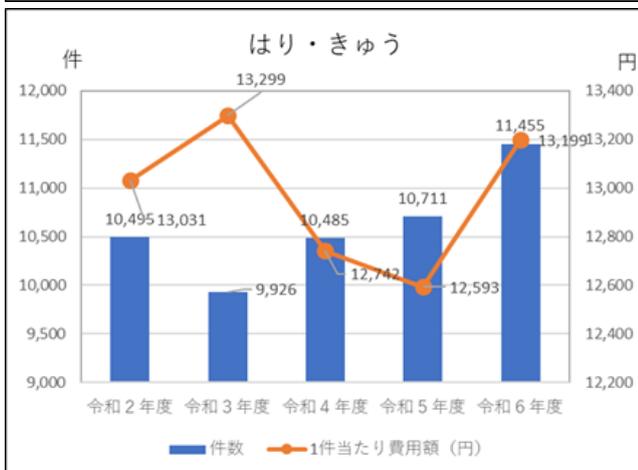
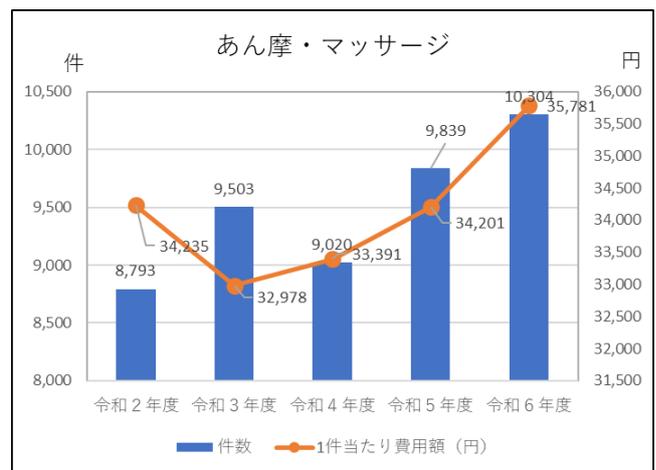
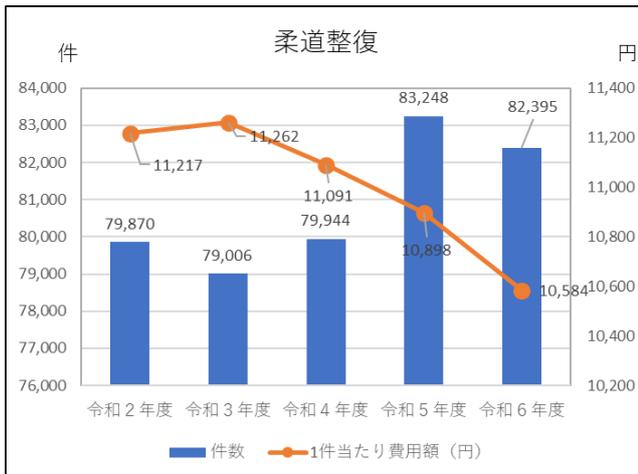
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
件数	79,870	79,006	79,944	83,248	82,395
1件当たり費用額（円）	11,217	11,262	11,091	10,898	10,584

##### あん摩・マッサージ

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
件数	8,793	9,503	9,020	9,839	10,304
1件当たり費用額（円）	34,235	32,978	33,391	34,201	35,781

##### はり・きゅう

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
件数	10,495	9,926	10,485	10,711	11,455
1件当たり費用額（円）	13,031	13,299	12,742	12,593	13,199



## (5) 葬祭費

被保険者が死亡した場合、葬祭執行者に対し3万円を給付する。

## 【葬祭費の推移】

年度	件数		支給額 (円)
		対前年伸率 (%)	
令和2年度	10,251	-2.5%	307,530,000
令和3年度	10,348	0.9%	310,440,000
令和4年度	11,765	13.7%	352,950,000
令和5年度	11,494	-2.3%	344,820,000
令和6年度	11,926	3.8%	357,780,000

## (6) 疾病別医療費の概要

## 疾病別医療費の全国との比較

本県の上位5疾病及びその構成比は、全国とほぼ同じ傾向を示している。

## 【令和6年度 疾病別医療費（大分類）】

大分類別疾患	富山県			全国		
	疾病別医療費 (円) (入院・外来合計)	構成比	順位	疾病別医療費 (円) (入院・外来合計)	構成比	順位
感染症及び寄生虫症	1,873,250,710	1.0%	16	196,147,537,050	1.1%	15
新生物<腫瘍>	23,061,530,380	12.4%	2	2,144,408,024,990	12.1%	3
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1,576,560,440	0.9%	17	158,287,292,170	0.9%	17
内分泌、栄養及び代謝疾患	11,060,275,060	6.2%	6	1,133,152,955,050	6.4%	6
精神及び行動の障害	7,681,983,780	4.8%	10	609,979,191,120	3.4%	11
神経系の疾患	9,380,081,820	5.7%	7	973,943,301,970	5.5%	9
眼及び付属器の疾患	5,875,446,030	3.4%	11	658,039,553,100	3.7%	10
耳及び乳様突起の疾患	422,954,640	0.2%	19	46,485,163,860	0.3%	19
循環器系の疾患	36,170,432,880	21.3%	1	3,658,055,640,680	20.6%	1
呼吸器系の疾患	11,780,549,830	6.2%	5	1,334,301,540,960	7.5%	5
消化器系の疾患	8,703,191,150	5.0%	9	1,021,163,136,370	5.7%	8
皮膚及び皮下組織の疾患	2,107,960,170	1.2%	15	233,867,213,980	1.3%	14
筋骨格系及び結合組織の疾患	21,694,275,870	12.3%	3	2,275,174,850,210	12.8%	2
泌尿器系の疾患	14,876,302,340	8.8%	4	1,481,495,246,330	8.3%	4
妊娠、分娩及び産じよく	558,990	0.0%	21	21,016,110	0.0%	21
周産期に発生した病態	0	0.0%	22	3,636,160	0.0%	22
先天奇形、変形及び染色体異常	33,574,760	0.0%	20	3,971,776,780	0.0%	20
症状、徴候及び異常臨床検査所見で他に分類されないもの	2,427,527,200	1.4%	14	267,694,084,620	1.5%	12
損傷、中毒及びその他の外因の影響	9,995,847,620	5.4%	8	1,084,973,695,030	6.1%	7
特殊目的用コード	2,775,260,300	1.6%	12	259,796,782,510	1.5%	13
傷病及び死亡の外因	0	0.0%	22	115,290	0.0%	23
健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	483,414,110	0.3%	18	50,761,991,260	0.3%	18
その他（上記以外のもの）	3,077,637,770	1.9%	13	182,743,813,000	1.0%	16
総計	175,058,615,850	100.0%	-	17,774,467,558,600	100.0%	-

KDB帳票「疾病別医療費分析（大分類）」令和6年度累計データより作表

※上位5疾病を白抜き文字で表記

### 疾病別医療費の経年変化

平成30年度から令和3年度までは、構成比が高いのは「循環器系の疾患」、「筋骨格系及び結合組織の疾患」、「新生物〈腫瘍〉」の順であったが、令和4年度以降は「循環器系の疾患」、「新生物〈腫瘍〉」、「筋骨格系及び結合組織の疾患」の順となり、「新生物〈腫瘍〉」の構成比は増加し続けている。

#### 【疾病別医療費（入院・外来合計）、構成比及び順位】

大分類別疾患	令和元年度			令和2年度			令和3年度		
	疾病別医療費（円）	構成比	順位	疾病別医療費（円）	構成比	順位	疾病別医療費（円）	構成比	順位
循環器系の疾患	32,462,554,410	21.0%	1	31,732,889,370	21.2%	1	32,620,859,630	21.1%	1
筋骨格系及び結合組織の疾患	19,522,794,600	12.6%	2	18,715,441,970	12.5%	2	19,033,903,720	12.3%	2
新生物〈腫瘍〉	17,358,504,360	11.2%	3	17,202,253,090	11.5%	3	18,339,778,090	11.9%	3
尿路器系の疾患	14,900,603,410	9.6%	4	14,270,725,240	9.5%	4	14,364,832,840	9.3%	4
神経系の疾患	10,454,771,040	6.8%	6	10,147,242,340	6.8%	5	9,508,805,030	6.2%	7
呼吸器系の疾患	11,000,280,050	7.1%	5	9,448,666,530	6.3%	7	9,657,862,560	6.3%	6
総計	154,539,212,190	-	-	149,761,528,150	-	-	154,410,263,180	-	-

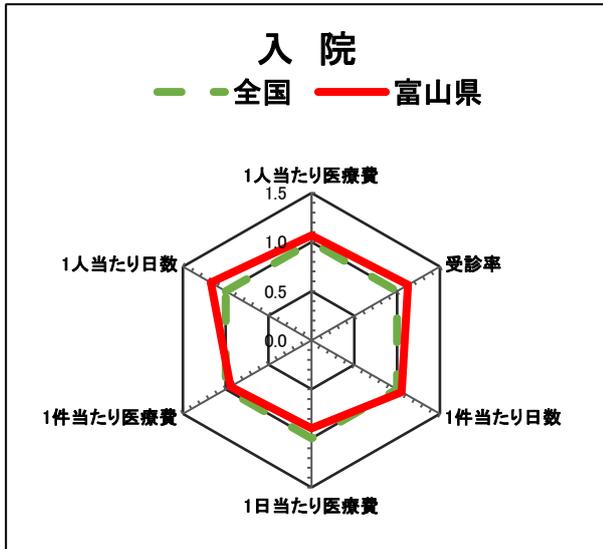
大分類別疾患	令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	疾病別医療費（円）	構成比	順位	疾病別医療費（円）	構成比	順位	疾病別医療費（円）	構成比	順位
循環器系の疾患	34,144,639,400	21.3%	1	35,098,531,490	20.7%	1	36,170,432,880	20.7%	1
筋骨格系及び結合組織の疾患	19,790,684,460	12.3%	3	21,021,078,960	12.4%	3	21,694,275,870	12.4%	3
新生物〈腫瘍〉	19,951,300,060	12.4%	2	22,014,773,290	13.0%	2	23,061,530,380	13.2%	2
尿路器系の疾患	14,078,292,460	8.8%	4	14,506,921,210	8.6%	4	14,876,302,340	8.5%	4
神経系の疾患	9,154,447,580	5.7%	7	9,285,662,560	5.5%	7	9,380,081,820	5.4%	7
呼吸器系の疾患	10,007,590,550	6.2%	5	11,101,420,660	6.6%	6	11,780,549,830	6.7%	6
総計	160,561,324,180	-	-	169,318,760,410	-	-	175,058,615,850	-	-

KDB帳票「医療費分析（2）大、中、細小分類」の各年度累計データより作成

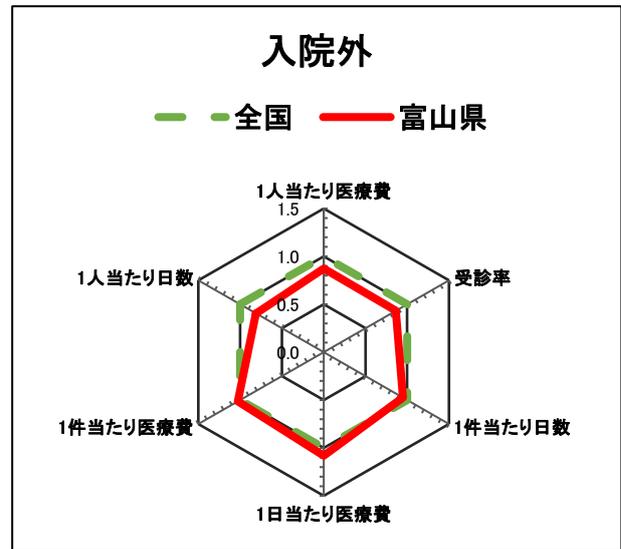
【参考】診療諸率の比較

令和6年度の診療諸率を全国と本県で比較した。(全国平均を1とした場合の本県比率)

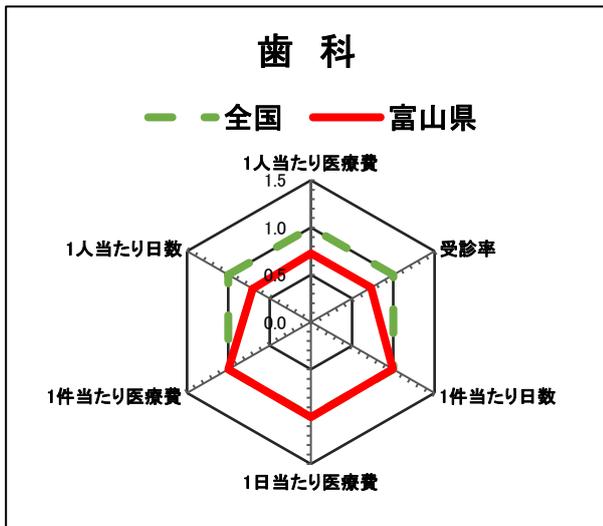
集計期間：全国は4月から3月受診分、本県は3月から2月受診分の集計



【入院】本県は全国に比べて受診率が高く、1人当たり及び1件当たり日数、1人当たり医療費が多いことから、入院すると長期化する傾向にある。



【入院外】本県は全国に比べて外来受診率、1人当たり日数及び医療費、1件当たり日数が低い傾向にある。



【歯科】本県は全国に比べて歯科受診率、1人当たり日数及び医療費、1日当たり医療費が低い傾向にある。

- 出典：◆全国：公益社団法人国民健康保険中央会「医療費速報」  
 ◆富山県：「後期高齢者医療事業状況報告書（事業年報）」  
 ◆KDB 帳票「地域全体像の把握」令和6年度累計データ

## 富山県の後期高齢者医療

### 【参考】都道府県別医療費

本県の一人当たり医療費は全国では中位にあり、増加傾向ではあるが、令和6年度も全国平均に比べて低くなっている。

令和5年度				令和6年度			
順位	都道府県	一人当たり 医療費	全国平均=100と した指数	順位	都道府県	一人当たり 医療費	全国平均=100と した指数
		(円)				(円)	
1	福岡県	1,181,148	123.6	1	福岡県	1,181,821	122.5
2	高知県	1,157,787	121.1	2	高知県	1,160,208	120.2
3	鹿児島県	1,125,964	117.8	3	鹿児島県	1,138,126	118.0
4	佐賀県	1,104,298	115.5	4	熊本県	1,104,673	114.5
5	長崎県	1,092,064	114.2	5	佐賀県	1,101,325	114.1
6	熊本県	1,091,033	114.1	6	大阪府	1,094,334	113.4
7	大阪府	1,080,181	113.0	7	長崎県	1,089,869	113.0
8	徳島県	1,076,334	112.6	8	北海道	1,084,407	112.4
9	北海道	1,075,447	112.5	9	徳島県	1,075,296	111.4
10	大分県	1,067,731	111.7	10	大分県	1,074,878	111.4
11	広島県	1,057,606	110.6	11	広島県	1,064,060	110.3
12	沖縄県	1,049,283	109.8	12	沖縄県	1,055,143	109.4
13	山口県	1,036,729	108.5	13	京都府	1,042,868	108.1
14	京都府	1,027,456	107.5	14	山口県	1,041,417	107.9
15	兵庫県	1,025,455	107.3	15	兵庫県	1,034,149	107.2
16	岡山県	994,065	104.0	16	岡山県	1,004,520	104.1
17	石川県	990,505	103.6	17	石川県	993,728	103.0
18	香川県	986,900	103.2	18	香川県	986,991	102.3
19	愛知県	973,375	101.8	19	和歌山県	976,886	101.2
20	愛媛県	963,121	100.8	20	東京都	976,279	101.2
21	東京都	960,540	100.5	21	愛知県	974,489	101.0
22	和歌山県	960,509	100.5	22	奈良県	965,108	100.0
23	島根県	950,727	99.5	23	鳥取県	962,435	99.7
24	鳥取県	950,217	99.4	24	愛媛県	962,309	99.7
25	奈良県	946,495	99.0	25	島根県	958,972	99.4
26	富山県	940,384	98.4	26	富山県	942,743	97.7
27	滋賀県	937,795	98.1	27	滋賀県	941,692	97.6
28	宮崎県	931,374	97.4	28	宮崎県	938,806	97.3
29	福井県	916,495	95.9	29	福井県	926,545	96.0
30	神奈川県	893,364	93.5	30	神奈川県	905,251	93.8
31	岐阜県	879,177	92.0	31	岐阜県	885,801	91.8
32	三重県	871,542	91.2	32	三重県	883,624	91.6
33	山梨県	868,345	90.8	33	山梨県	875,733	90.8
34	群馬県	867,624	90.8	34	群馬県	873,493	90.5
35	長野県	858,809	89.8	35	宮城県	872,035	90.4
36	宮城県	857,979	89.8	36	埼玉県	866,344	89.8
37	山形県	854,574	89.4	37	長野県	865,792	89.7
38	茨城県	852,045	89.1	38	山形県	858,902	89.0
39	埼玉県	851,283	89.1	39	静岡県	852,990	88.4
40	静岡県	842,735	88.2	40	茨城県	852,816	88.4
41	栃木県	841,704	88.1	41	千葉県	852,749	88.4
42	千葉県	838,769	87.7	42	栃木県	844,571	87.5
43	福島県	827,235	86.5	43	福島県	832,394	86.3
44	青森県	823,631	86.2	44	青森県	820,915	85.1
45	秋田県	813,090	85.1	45	秋田県	817,696	84.7
46	岩手県	779,423	81.5	46	岩手県	789,294	81.8
47	新潟県	767,567	80.3	47	新潟県	776,406	80.5
-	全国平均	955,904	100.0	-	全国平均	964,905	100.0
最大/最小		1.54倍		最大/最小		1.52倍	

出典：公益社団法人国民健康保険中央会「医療費速報(令和6年度年間分)」参考資料 各年度は4月から3月受診分の合計

## 5 保健事業の状況

## 5 保健事業の状況

### (1) 健康診査事業

被保険者の主体的な健康管理と健康の保持増進を図り、生活習慣病の早期発見・早期治療につなげていくことを目的とし、富山県医師会への委託により実施している。

#### 検査項目

##### 【基本項目】

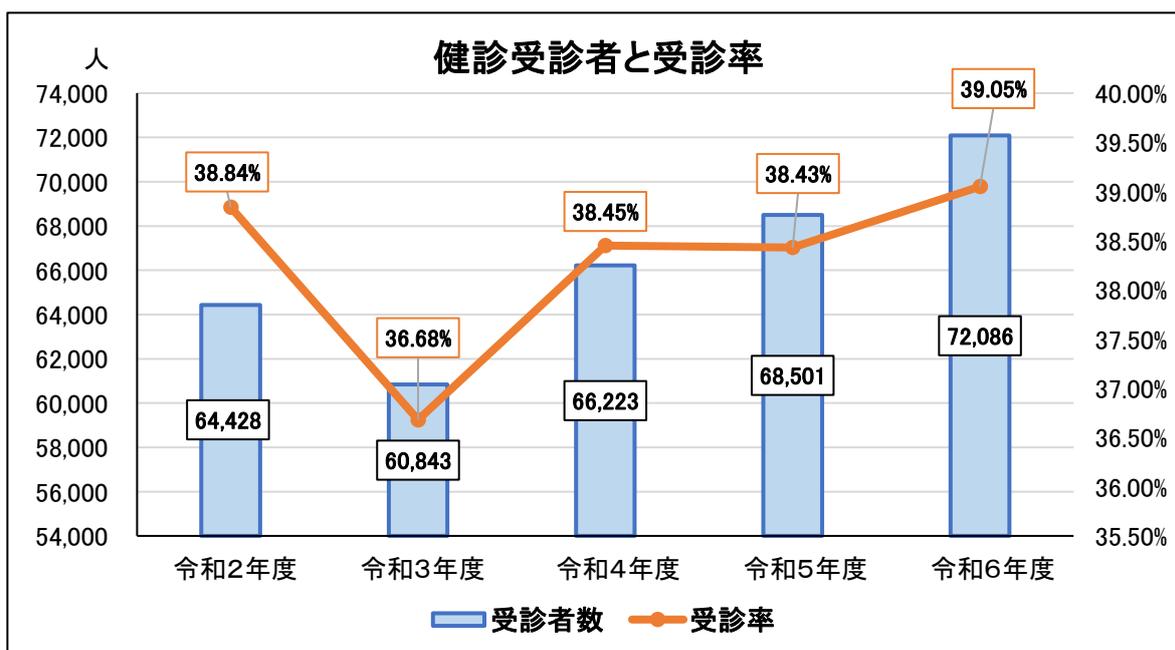
健康状態及び生活習慣に関する問診・身長及び体重・BMI・理学的所見（身体診察）  
・血圧・血液検査（脂質、肝機能、代謝系）・尿検査（尿糖・尿蛋白）

【詳細項目】血清クレアチニン検査（令和2年度から）、貧血検査（令和7年度から）

#### 受診率の推移

年度	事業費	受診対象者数	受診者数	受診率
令和2年度	579,721 千円	165,896 人	64,428 人	38.84%
令和3年度	577,105 千円	165,860 人	60,843 人	36.68%
令和4年度	616,224 千円	172,218 人	66,223 人	38.45%
令和5年度	652,261 千円	178,261 人	68,501 人	38.43%
令和6年度	720,706 千円	184,606 人	72,086 人	39.05%

※令和2年度から受診者数、受診率には、人間ドック受診者を含む。



**(2) 歯科健診**

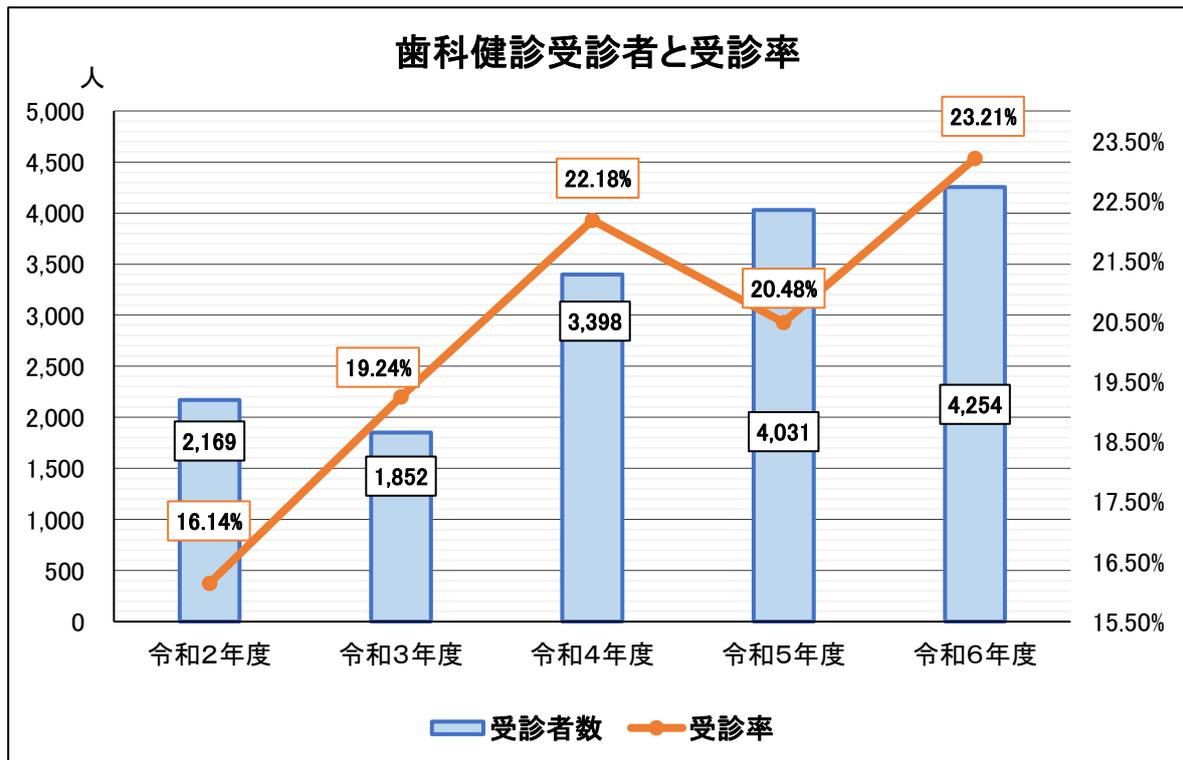
平成 27 年度から、口腔機能低下の予防を図り、肺炎等の疾病の予防につなげるとともに、口腔健診意識向上を図り、後期高齢者の健康水準の向上に資することを目的として、富山県歯科医師会への委託により実施している。

**対象者**

前年度に 75 歳に到達した被保険者

**受診率の推移**

	事業費	対象者数	受診者数	受診率
令和 2 年度	15,808 千円	13,412 人	2,169 人	16.17%
令和 3 年度	13,239 千円	9,627 人	1,852 人	19.24%
令和 4 年度	24,379 千円	15,322 人	3,398 人	22.18%
令和 5 年度	29,244 千円	19,683 人	4,031 人	20.48%
令和 6 年度	29,796 千円	18,327 人	4,254 人	23.21%



### (3) 人間ドック助成事業

平成 23 年度から、疾病の早期発見に努め、後期高齢者の健康の保持増進に寄与することを目的として、県内医療機関へ委託し、ドック受診者へ検査料の一部助成を実施している。

#### 対象者

健康診査未受診者

#### 助成額

検査料に 2 分の 1 を乗じて得た額又は 15,000 円のいずれか低い額

#### 助成者の推移

年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
助成者数	2,281 人	2,647 人	3,166 人	3,512 人	4,068 人

**(4) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業**

令和2年度から、高齢者の身体的、精神的及び社会的な特性を踏まえ、これまで実施してきた保健事業に加え、介護予防事業と連携しながら疾病予防と生活機能維持の両面から支援する「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」を市町村委託により実施している。

**実施内容**

## ① 個別的支援（ハイリスクアプローチ）

低栄養防止・口腔・服薬・身体的フレイル・重症化予防（糖尿病性腎症）重症化予防（その他生活習慣病）・健康状態不明者対策

## ② 通いの場への積極的な関与（ポピュレーションアプローチ）

健康教育・健康相談、フレイル状態の把握、気軽に相談できる環境づくり

**実施市町村**

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
市町村数	2市	9市町	15市町村	15市町村	15市町村
市町村名	高岡市、射水市	富山市、高岡市、魚津市、氷見市、黒部市、砺波市、射水市、入善町、朝日町	富山市、高岡市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市、南砺市、射水市、舟橋村、上市町、立山町、入善町、朝日町	富山市、高岡市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市、南砺市、射水市、舟橋村、上市町、立山町、入善町、朝日町	富山市、高岡市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市、南砺市、射水市、舟橋村、上市町、立山町、入善町、朝日町
実施圏域数	9圏域	34圏域	50圏域	53圏域	57圏域

**合同会議・研修会**

- ・令和6年4月 企画調整担当者会議
- ・令和6年7月～令和7年3月 合同会議、各厚生センター毎の会議
- ・令和7年1月 一体的実施の推進に向けたセミナー（研究報告・講演・グループワーク）

**(5) 糖尿病性腎症重症化予防事業**

平成30年度から、糖尿病性腎症患者の重症化を予防し、新規透析患者の減少を図るため開始し、令和元年度から、県内全市町村の被保険者のうちリスクの高い者を対象に受診勧奨及び保健指導を実施している。

**実施状況**

事業指標		実績値				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
対象者の受診率の向上 (受診勧奨後の医療機関受診率)	未治療者	89.7%	76.6%	61.1%	87.6%	55.6%
	治療中断者	37.6%	53.8%	73.2%	43.7%	28.4%
保健指導実施市町村数		11	12	14	15	15
新規透析患者数		172人	176人	153人	154人	161人
1万人あたり新規透析患者数		9.5人	9.5人	7.9人	7.7人	7.9人

※令和6年度より受診勧奨にかかる国の基準が変更された。

**(6) 循環器疾患（高血圧）重症化予防事業**

令和2年度から、県内全市町村の被保険者のうち、リスクの高い者を対象に受診勧奨及び保健指導を実施している。

**実施状況**

事業指標		実績値		
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
対象者の受診率の向上 (受診勧奨後の医療機関受診率)	未治療者	44.2%	42.3%	29.5%
保健指導実施市町村数		13	15	15

※令和6年度より受診勧奨にかかる国の基準が変更された。

**(7) ポリファーマシー対策事業**

令和3年度から、関係者との検討会を開催するとともに、モデル市町村を募り、複数の医療機関から一定数以上の内服薬処方者や重複投薬者、一定期間以上の併用禁忌薬内服者等を抽出し、薬剤師からの専門的意見を踏まえて選定した介入対象者に、訪問相談を実施している。

**実施市町村**

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
市町村数	1市	3市	6市町村	5市町村
市町村名	黒部市	黒部市、射水市、魚津市	射水市、魚津市、滑川市、小矢部市、舟橋村、立山町	滑川市、小矢部市、舟橋村、立山町、入善町
指導実施人数(延べ)	7人 (14人)	22人 (37人)	40人 (51人)	19人 (21人)

※2ヶ年伴走支援し、終了後は市町村が一体的実施事業において継続実施している。

**出前講座**

後期高齢者は、加齢による生理機能の変化や複数疾患による多剤・重複服薬等に係る問題が生じやすい。また、近年要介護者の増加原因として骨折転倒・関節疾患、フレイルがあり、ポリファーマシーが1つの要因であることが知られている。これらのことから、富山県薬剤師会へ委託し、ポリファーマシー対策についての講話を行うことで、高齢者や家族等にポリファーマシー対策の有用性を周知している。

- ① 実施期間 令和6年5月～令和7年3月
- ② 開催回数 18回、受講者数 398人

(8) 保険者インセンティブの推進

後期高齢者医療広域連合による被保険者に対する予防・健康づくりの取り組みや医療費適正化の事業実施の取組を推進するため、平成 29 年度から後期高齢者医療制度においても実施された「保険者インセンティブ」について、各評価指標の達成に取り組んでいる。

保険者インセンティブの推移

			令和3年度 2年度実績		令和4年度 3年度実績		令和5年度 4年度実績		令和6年度 5年度実績		令和7年度 6年度実績	
			配点	実績								
保険者共通の指標	指標1	健診の実施及び健診結果を活用した取組	7	4	7	7	7	4	7	7	9	6
	指標2	歯科健診の実施及び健診結果を活用した取組	7	7	7	7	7	7	7	7	7	6
	指標3	重症化予防の取組の実施状況	21	18	-	-	-	-	-	-		
		糖尿病性腎症重症化予防の取組	-	-	10	10	10	8	10	10	10	10
	指標4	被保険者の主体的な健康づくりに対する広域連合による働きかけ	7	7	8	6	8	8	8	8	17	14
	指標5	被保険者の適正受診・適正服薬を促す取組	7	5	5	5	5	5	5	5	7	5
指標6	後発医薬品の使用割合	5	4	5	5	5	5	5	5	5	5	
	後発医薬品の使用促進	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
後期高齢者固有の指標	指標1	データヘルス計画の実施状況	4	4	2	2	2	2	3	3	6	6
	指標2	高齢者の特性（フレイル）を踏まえた保健事業の実施状況	21	16	-	-	-	-	-	-		
		高齢者の特性を踏まえた保健事業の実施（ハイリスクアプローチ）	-	-	15	15	15	15	15	15	25	22
	指標3	高齢者の特性を踏まえた保健事業の実施（ポピュレーションアプローチ）	-	-	8	8	8	8	8	8	8	8
	指標4	地域包括ケアの推進等	8	8	-	-	-	-	-	-		
		高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施、地域包括ケアの推進等	-	-	15	15	15	15	15	15	15	15
	指標5	専門職の配置など保健事業の実施のための体制整備	10	10	-	-	-	-	-	-		
		保健事業の実施のために必要な体制整備、市町村後方支援	-	-	10	10	10	10	7	7	9	9
	-	医療費通知の取組の実施状況	5	5	-	-	-	-	-	-		
	指標6	第三者求償	6	6	6	4	6	5	6	3	6	3
指標7	事業実施に対する評価の有無	20	20	20	20	20	20	20	15	20	20	
指標8	重症化予防のマクロ的評価	-	-	-	-	6	0	6	5	6	5	
	年齢調整後一人当たり医療費のアウトカム評価	-	-	-	-	8	1	8	1	8	3	
合計得点			130	116	120	116	134	115	132	116	160	139
順位			全国 12 位		全国 1 位		全国 14 位		全国 4 位		全国 1 位	
交付額			118,035 千円		123,495 千円		111,216 千円		118,731 千円		123,835 千円	

【出典】厚生労働省：「後期高齢者医療の保険者インセンティブの結果」

## 6 医療費適正化事業の状況

## 6 医療費適正化事業の状況

### (1) 医療費通知（医療費のお知らせ）の送付

被保険者にかかった医療費の額をお知らせすることにより、健康に対する意識を高めてもらい、被保険者の健康増進を図ることを目的として実施している。

※令和4年度から通知回数を年2回から年1回に変更

#### 令和6年度の実施状況

- (1) 総事業費 48,544,557円
- (2) 発送時期・発送通数  
・令和7年1月 397,841通

### (2) ジェネリック医薬品の利用促進

医療費の適正化を目的に、服用している先発医薬品をジェネリック医薬品に切り替えた場合の差額の通知や、ジェネリック医薬品希望カードの配布などを通じ、ジェネリック医薬品の利用促進を図ることを目的に実施している。

※令和4年度から、通知回数を年2回から年1回に変更

#### 令和6年度の実施状況

- (1) 総事業費 171,394円
- (2) 差額通知発送時期・発送通数  
・令和6年7月 874通

※通知対象

ジェネリック医薬品に切り替えた場合に薬代が月500円以上軽減する場合

- (3) 数量シェア 86.1%（令和6年9月現在）

---

富山県後期高齢者医療広域連合

〒939-2798

富山県富山市婦中町速星 754 番地

富山市婦中行政サービスセンター5階

電 話 076-465-7501 (代表)

FAX 076-465-3967

ホームページ <https://www.toyama-iryuu.jp/>

---